

障害者の丁寧な仕事を知ってほしい！

「障害者のつくる品物フェア」開催

16日、杉並区役所(阿佐谷南1-15-1)で、区内の障害者施設(全23箇所)でつくるネットワーク「すぎなみ仕事ねっと」が、「障害者のつくる品物フェア」を開催しました。これは、施設で働く障害者の給料アップを目指し、より多くの人に施設や商品を知ってもらい、障害者への理解を広げたり商品ファンを増やすことによって、販売促進につなげようと、平成19年からはじめた取り組みです。今回は田中区長も会場を訪れ、丁寧に作られた品々を見て回りました。

「すぎなみ仕事ねっと」は、年3~4回程度「障害者のつくる品物フェア」を開催しています。日頃、各障害者施設では、魅力ある商品を自主生産し、区役所1階ロビーでワゴン販売(日替わり)を行うなど、障害者の経済的自立に取り組んでいます。しかし、障害者が得られる収入は決して高いとは言えません。そこで、施設で働く障害者の給料アップを目指し、丁寧な障害者の仕事ぶりを広く知ってもらい、商品ファンを増やすことで、販売促進につなげていこうと、平成19年から、障害者施設が一堂に集まり、このフェアを開催するようになりました。

フェアへの参加は、障害者にとって、通常の販売より盛り上がるため、接客や販売の工夫といった面でモチベーションがあがり、毎回楽しみな催しになっています。

本日、区役所1階ロビーで開かれた「障害者のつくる品物フェア」には、14施設が参加し、人気のパンやケーキ、手工芸品など数多くの商品を並べました。午前11時にフェアが始まると、偶然区役所を訪れた方や事前にチラシを見た方などが次第に集まり、思い思いに商品を手にとって買い物を楽しんでいました。

参加施設の一つ、あけぼの作業所(上井草4-3-11)のコーナーには、販路が拡大し、9月から区役所1階の喫茶「F i k a F i k a (フィーカフィーカ)」でも食べることができるようになったグリーンカレーの缶(大430g・840円、小200g・420円)も置かれ、買い物客の目にとまっていました。このグリーンカレーは、日本人向けにココナッツミルクを調整して作っているので、とても食べやすいと人気です。

お昼休み、田中良区長もフェアの会場を訪れ、施設利用者「きれいに作っていますね」などと声をかけながら、各施設の商品を見て回りました。その後、早速喫茶でグリーンカレーを注文し、「食べやすくて美味しいですね」と話していました。

次回の「障害者のつくる品物フェア」は、12月の予定です。区では、障害者が地域の中で、よりいきいきと自立した生活が送れるよう、こうした取り組みを今後も支援していきます。



●喫茶F i k a F i k a (フィーカフィーカ) 阿佐ヶ谷店 グリーンカレー 1皿600円
営業時間：午前9時~午後5時 定休日：土日、祝日

【問い合わせ先】

保健福祉部障害者生活支援課・総務部広報課 電話3312-2111(代表)